

日本海学の新世紀8 総集編「日本海・過去から未来へ」

編集：日本海学推進機構

企画：富山県国際・日本海政策課／日本海学推進機構

発行所：株式会社角川学芸出版

発行年月：2008 年3月

価格：1365 円



『日本海学の新世紀8 総集編 日本海・過去から未来へ』目次

はじめに

日本海学の提唱と歩み

富山県国際・日本海政策課

1 章 文明の交流

比較文明学から見た日本海文明交流圏

伊東俊太郎

東京大学名誉教授

地図にみる「日本海」の呼称

青山宏夫

国立歴史民俗博物館助教授

日本海をめぐる玉文化交流

藤田富士夫

富山市埋蔵文化財センター所長

「越国」の起源—龍蛇と鳥は語る

安田喜憲

国際日本文化研究センター教授

渤海と古代日本—日本海を結ぶ交流

酒寄雅志

國學院大學栃木短期大学教授

日本文化に影響したアイヌ文化

大塚和義

国立民族学博物館教授

近世日本海の大動脈、日本海海道の形成と展開

深井甚三

富山大学人間発達科学部教授

<講演> 文明と海

青柳正規

東京大学大学院教授

2 章 循環と共生

日本海の成立と海流の脈動

小泉格

北海道大学大学院理学研究科教授

日本海深層循環系の成立と現状

蒲生俊敬

北海道大学大学院理学研究科教授

陸と海がつながる自然の循環系

張勁

富山大学理学部助教授

海を渡る黄砂と酸性雨

佐竹研一

立正大学地球環境科学部教授

<インタビュー> 森と水と動物たちを語る

C. W. ニコル

C. W. ニコル・アフアの森財団理事長

次世代の燃料資源を生む日本海—日本海の構造と海底資源	竹内章	富山大学理学部教授
海との共生の知恵—日本海沿岸の北と南	秋道智爾	総合地球環境学研究所教授
環日本海構想の歴史的変遷—「開発優先」型から「環境優先」型構想へ	若月章	県立新潟女子短期大学国際教養学科助教授
交流と協力—可能性の前途に横たわる諸問題	木村汎	拓殖大学海外事情研究所教授
<対談> 環日本海地域の可能性	船橋洋一/中井徳太郎	朝日新聞コラムニスト/東京大学医科学研究所教授
3章 持続可能性への展望		
「地球温暖化」と環日本海の気候・環境変化	安成哲三	名古屋大学地球水循環研究センター教授
環日本海と水資源と持続可能性	沖大幹	東京大学生産技術研究所教授
海の恵みの持続可能性	有元貴文	東京海洋大学教授